

館報

食欲の
秋



11 月号

No. 811

令和5年
(2023年)

やまがた



ゆったりと自然の中で

みえだ みいな
三枝 美衣那さん

自然保育と山形村の環境に魅力を感じ、今年度からやまのこ保育園で働きはじめた三枝さん。3歳児クラスを担当し、秋晴れのこの日はサンマを焼くのに使う予定の薪を4歳児クラスと一緒に取りに行ったところでした。

「とにかく子どもたちが笑顔で園の生活を過ごせるように心がけています。毎日一緒に過ごす中で、子どもたちの成長を間近でみられることにやりがいを感じています」と話してくれました。

(10月27日 やまのこ保育園付近にて)

働く姿

告知板

山形村公民館『館報やまがた』 編集部員大募集!!

山形村公民館では、来年度『館報やまがた』と一緒に制作してもらえる方を募集しています。知っているようで知らない山形村を再発見して、記事にしてみませんか？

編集部の醍醐味である企画校正会議は見学自由！詳しい活動内容や報酬については山形村公民館へご連絡ください。



一緒に館報作りましょう!／

お問い合わせ
山形村公民館 ☎0263-98-3155

ふるさと検定 始動!

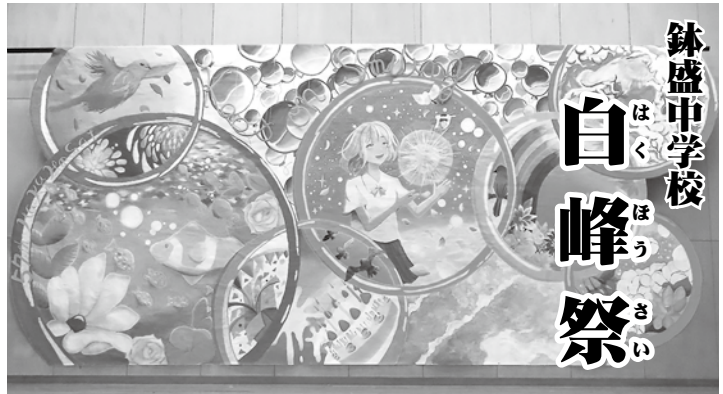
10月27日(金)、トレーニンングセンターにて、山形村ふるさと検定推進委員会の第1回会議が行われました。山形村ふるさと検定は、村への帰属意識を高め、地域づくりの推進力を育てるために実施される検定です。開村150周年にあたって、ふるさとの文化を語り継ぎ、村内外へ発信する人材を育成したいという思いで企画されています。顔合わせを兼ねたこの日は、他地域の事例を参考にしながら検定の方針について話し合いました。世代を超えた活発な意見交換がなされ、検定への期待



感がうかがえました。村の文化を学び直すことで、普段は見落としがちなるふるさとの魅力に気づき、村での生活が一層楽しくなると思います。検定の実施時期は来年の10月頃になるとのこと。『山形村ふるさと検定』に多くの関心をお寄せください!



合唱交歓会



鉢盛中学校

白峰祭

9月28日(木)・29日(金)の2日間、鉢盛中学校にて第57回白峰祭が行われました。今年度は4年ぶりに地域の皆さんにも観覧していただくことができました。生徒会のスローガン『Keep on smiling』のとおり、全校生徒で思いつき楽しみ、笑顔いっぱいこの2日間となりました。



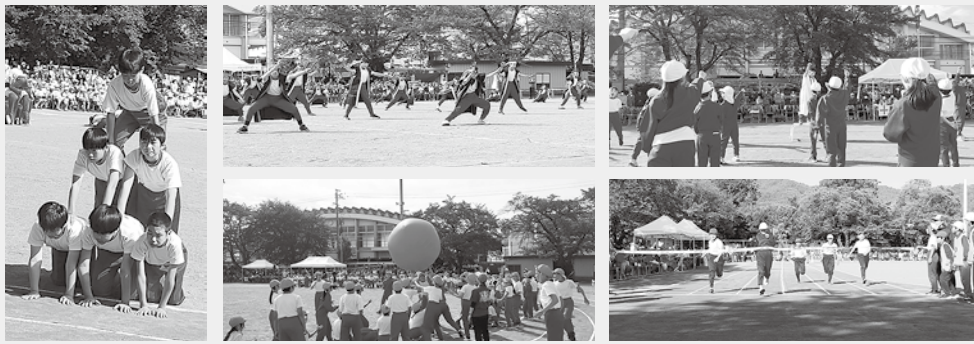
体育祭

山すゝ

私は仕事柄、多数の方に用紙へ手書き記入していたことが多く、その中で最近、漢字が書けない(正確には、書けなくなっただけ)方が多いと感じる▼漢字を書こうと思っただけ、頭の中ですぐ明確に思い出せる漢字と、全体や「へん」、「つくり」の部分に霧がかかったように思い出せない漢字がある。後者の場合は何度か試し書きして、「ああ!」と漢字を思い出す。恐らく漢字を忘れてきているのだと私は思う▼現代のパソコンやスマートフォンの普及で手書きの習慣が減ったことが、漢字を忘れる原因ではないだろうか。手書きで身に付けた『漢字の記憶』を便利なデジタル化で忘れてしまう。いずれは画面で見る漢字も「こんな字だったっけ?」となってしまうのであろうか。それもあり、私はスケジュール管理にスマートフォンを使いデジタル管理していたが、数年前から手帳へ手書き管理に変更した。それにより、漢字が書けない現象は減ったように感じる▼しかし、比較的新しい単語とはいえ、『令和』はスムーズに書いてもらいたい。

山形小学校第76回運動会

10月14日(土)、山形小学校にて第76回運動会が開催されました。秋晴れの空の下、全校児童が全力で競争し練習の成果を披露しました。



5年生の一條楓さん(下竹田)は、「競走で初めて1位になって、とても嬉しいです。組体操は自分では見えないので、皆さんに上手く伝えられたかは分かりませんが、一生懸命やり切りました」と誇らしげに話してくれました。



やまのこ保育園運動会

10月21日(土)、やまのこ保育園にて運動会が開催されました。園児たちは、少し緊張した表情でしたが、かけっこや玉入れ、障害物競走に一人一人全力で取り組みました。
年長の中川泰智くん(小坂)は、「リレーを走るのが楽しかった。障害物は丸太渡りがよくできた」とやりきった表情で話してくれました。



岩岡きく江園長は「久しぶりに保護者の人数制限のない運動会ができました。子どもたちも喜んでいました」と話していました。



間伐体験学習

10月18日(木)、学校山にて、小学4年生による間伐体験学習がありました。7月に予定されていた下草刈り体験が中止となったため、初めて学校山に来た児童もいました。林業委員によるヒノキの伐倒を見学した後、二人一組になってノコギリで枝を払いました。慣れない作業を斜面で行うのは難しいですが、お互いに助け合いながら安全に枝を切り、学びの多い時間にすることができました。



4年ぶりに開催された第73回山形村総合文化祭！過去3年間は規模を縮小した発表会でしたが、今年は15団体の展示発表と11団体の芸能発表、図書館企画があり、盛大に開催されました。

合文化祭

・図書館 11月4日(土)、5日(日)

芸能発表



彌磨太鼓
Festa、疾風、JOY、和の精神



山形村民話クラブ 剛
紙芝居「野麦峠をこえて」



ジョイ♪ハーモニカ
冬の星座、北上夜曲、他



フラサークル
Nohlie、Kane'ohē、他



やまがたウィンドアンサンブル
あなたとトゥラッタッタ、未来予想図Ⅱ、他



山形小学校金管バンド
さんぽ、千本桜



クレヨンママ
パネルシアター「すてきな帽子屋さん」



玲心会
長唄 勸進帳～滝流し・舞の手、島唄



山形村音楽クラブ
愛の花、故郷の四季、未来へ



こどもコーラス Tanpopo
この歌を、好き、いのちの歌



暁岳流日本吟道館山形道場
九月十三夜陣中の作、(合吟)異国の丘、他



パンフレット表紙と挿し絵
鉢盛中学校2年
竹村 純希さん (小坂)

大勢の方が訪れて、楽しみや学びのあった文化祭でしたね。展示発表では保育園児や小・中学生の学びの成果が感じられ、各団体の展示でも活動の様子などを見て感じる事ができました。芸能発表では久しぶりの“生”での発表、観覧ができてとても良かったです。また、文化祭会場での人と人との交流があらこちらで見受けられました。改めて文化祭は村民にとって大切なイベントだと多くの方が感じられたのではないのでしょうか。

第73回 山形村総

トレーニングセンター大ホール・体育館

展示発表



山形小学校児童作品



山形保育園園児作品
宝箱～だいすきなものいっぱいつめこんで～



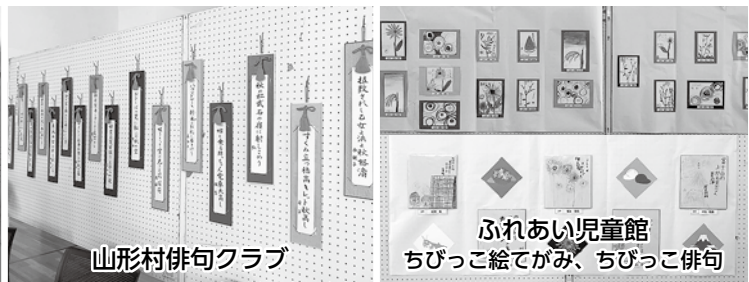
やまご保育園園児作品
鯉のぼり、秋のリース、田んぼ作りのあゆみ



鉢盛中学校美術部



鉢盛中学校 白峰タイムの記録



山形村俳句クラブ



ふれあい児童館
ちびっこ絵てがみ、ちびっこ俳句



ピアやまがた 利用者作品

ピアやまがた
貼り絵、ぬり絵、書道、ハンドメイド折り紙など



山形村防犯協会
小学生が作成した防犯ポスター



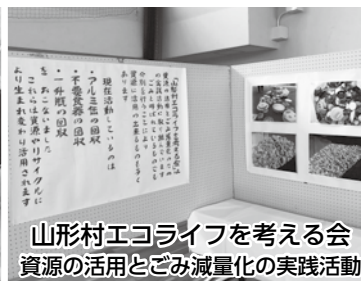
山形村エコライフを考える会
資源の活用とごみ減量化の実践活動



山形村史談会
山形村の山城と狩野派画家の作品



自然保護集団アクアの会
“想い出探しの水辺”水槽展示



6団体協働♪スマイルみどりん♪
ドライフラワーリース、150周年記念パネル



図書館
カードケース作成ワークショップなど



三原色を楽しむ会
絵画、絵葉書の展示



Yふるさとレンジャー隊
「山」をテーマとした作品展示



今月のテーマ
仲間募集

ソフトバレーボール

紹介者 (代表) : 百瀬 貴俊さん (下竹田)

でも>Welcome!!ほんの少しでも気になった皆さん、一緒にソフトバレーボールをやりましょう

当村のソフトバレーボール界にはさまざまなサークル・団体がある中、山形村ソフトバレーボール連盟は平成4年(1992年)から令和元年度(2019年)までの28年間、初心者から経験者まで多くの皆さんに参加いただき、毎年10月から翌3月までリーグ戦を開催してまいりました。また、夏には姉妹都市であった新潟県の青海町(現糸魚川市)からチームを招いて大会を開催。糸魚川市の大会にも参加するなど都市間交流も積極的に行っていました。そんな中、新型コロナウイルス感染症が流行し状況は一変。連盟の活動が中止となつて4年が経ちます。そして今シーズン、リーグ戦を再開しようと連盟所属チームへ参加を募つたとところ全リーグ24チーム中、3チームのみの参加希望。現状の参加チーム数ではリーグ戦を行えないため今年度も中止となりました。そこで、気持ちを新たにリーグ戦再開に向けて出発するため皆さんにお誘いします。週1回和気あいあいと試合形式で練習をやっていますので、まずは気軽に体を動かすに越しください。未経験者大歓迎!お一人からでもチーム参加



初心者から経験者まで十人十色

メンバー募集中!

練習日: 毎週木曜日
時間: 午後8時00分~午後9時30分
場所: トレーニングセンター体育館
団体へのお問い合わせは、山形村教育委員会 (☎0263-98-3155) まで



気軽にお声がけください(^^)!



モットーは“みんなで楽しく”

普通救命講習

10月28日(土)、トレーニングセンターにて山形消防署主催の、成人に対する心肺蘇生法やAEDの使い方、応急手当を中心とした3時間の講習会が行われました。本講習会では受講後『修了証』が交付されます。はじめの講義では、応急手当のあらまし、重症度、緊急度の見分け方(冷や汗が出ている、手足が不自由になるなど)や、救急車は到着するまでは平均10分かかること、心肺蘇生をより早く始めれば格段に救命率が上がることを学びました。続いての実技講習では、練習ダミーを使って心肺蘇生の実践です。処置の流れは、倒れている人を発見↓周囲の安全を確認↓両肩を軽く叩きながら声かけ↓意識が無い場合は周囲に助けを呼ぶ↓誰かが来てくれたら119番通報と、AEDが近くにある場合は持つて来てもらう(いずれも指名する事)↓呼吸の確認↓呼吸なし↓胸骨圧迫の開始。これを落ち着いて行います。胸骨圧迫は、胸の左右真ん中にある胸骨の下半分に重ねた両手の下部分を当てて、垂直に5cmの深さを目安に押し下げることと、当てた手が胸から離れないように絶え間なく続けるこ

とが大切であることを学びました。胸骨圧迫は非常に体力を使うため、受講者は息を上げながらも体に感覚を叩き込んでいました。

AEDの使用法では、濡れた地面や体が濡れている場合は効果が落ちるため、水分は拭き取つて水気のない場所で使用することや、胸の右上と胸の左に付けるパッドについて、怪我をしていない場合などは、位置を逆にしてもよいとのことでした。

日本では、家族であっても心肺蘇生の行動を起こすことは少ないそうです。救命行動は多くの人が知識を持つことが大切だと感じました。



おめでた字・題

原 大心 正法 小坂
詩音 美幸
上條 裕翔 巧 上竹田
裕梨 絵梨

おくやみ

古畑さち子 90歳 上竹田
石川 唯人 90歳 下竹田
笹田たまき 93歳 上池
柴 榮子 74歳 上竹田
山口 晴子 90歳 小坂
小林 源樹 71歳 小坂

②② 糸車

今回のミニ糸車は、10月中旬から実施した遺跡発掘調査の様子をお伝えします。

調査が行われたのは上大池にある洞遺跡で、歩道を新設する

工事によって遺跡が壊されてしまったため、その記録を残すために実施されました。

この遺跡では、昭和45年(1970年)に、国営(中信平)右岸上段幹線水路の敷設に伴う第1次調査が行われ、縄文時代や平安時代の住居跡、弥生時代の遺物が発見されていました。南側の山裾にある湧き水を水源とした小川の近くに、人々の営みがあったと考えられます。今



調査風景



管玉(管状石製品)

回の調査地は、その水辺からは東側に離れていることから、それ程多くの物が埋もれていると考えていませんでした。しかし、その予想に反した成果が得られています。

まず見つかった遺跡の時期が村内初となるものです。山形村は先に長野県宝に指定された縄文土器に代表されるように、多くの縄文遺跡があることが1つの歴史的特色です。しかし、1万年以上にわたる縄文時代の全期間を通して人々が暮らしていた訳ではなく、中期と呼ばれる4千〜5千年前の時期に集中しています。これは山形村に限ったことではなく、周辺地域も同じ状況ですが、このたび見つかったのは、それよりも古い約7千年前、縄文時代早期末のものなのです。

土器は破片ばかりで、全体の形が分かるものは限られます。また県宝の縄文土器とは違って、壮麗な文様は付いていません。一見ただのカケラではあります。が、なんと言っても村内初の時期となるものですので貴重な成果です。

そしてもう一つ、当時の玉製品、管玉(管状石製品)2点が発見されました。これは装身具で、長辺が3cm程、短辺が2cm程、重さは15g程あり、紐を通すための穴があいています。石材は滑石だと思われれますが、白馬村近辺にその産出地が知られていることから、わざわざ運ばれたものになります。

縄文時代早期末の玉製品は、飯島町カゴ田遺跡での事例が古くから知られています。これに匹敵する、県内最古級の事例と評価できます。また、2点が密着し並んで出土した状況は、この時期の事例としては国内でも稀だと思われ、考古学的に貴重な発見だと言って良さそうです。

今後は、持ち帰った土器や石器の洗浄等、整理作業を進めます。実物を見ていただけるよう展示会も予定しますので、しばらくお待ちいただけたらと思います。

⑩⑩ みんなの人権

「ちいちゃんのかげおくり」と青い空 ~戦争や貧困はどうしてなくなるの?~

— 涙して歌う小学生たちの合唱を聴いて

優の風景 ⑤④

足しながら、山小の大運動会で『スポーツの秋』を楽しみ、村の総合文化祭でムラの『文化の香り』を味わって、4年ぶりに『当たり前の日常のありがたさ』を痛感しました。そして、たまたま動画で、近隣の小学校の音楽会を鑑賞する機会を得て『芸術の秋』を堪能した今年の秋でありました。動画で聴いた合唱組曲は、小学3年生が歌う『ちいちゃんのかげおくり』。ちょうど国語の教科書で学びあった直後の合唱だったのでしようか、中には涙しながら精一杯歌う子どもの姿も。一家4人で青く澄んだ『空』を見上げて『かげおくり』を楽しんだその『平和な空』が、にわかには戦火にまみれて『暗雲垂れ込める空』に。そしてちいちゃんを残して戦火に消えてしまったお父さん、お母さん、お兄ちゃん。3人の家族が帰ってくることを信じながら、涙一つ流さず待ち続ける健気なちいちゃん。つい最近まであったあの『青い空』の下で家族全員で楽しんだ『かげおくり』を思い浮かべながら、ちいちゃんも栄養失調で天へ逝ってしまう。そんな作品『ちいちゃんのかげおくり』(あまんきみこ)を合唱組曲にしたものでした。テレビには毎日のようにパレスチナやウクライナで戦火に呻き苦しむ人々の姿が。他方で、物価高や経済格差の拡大に日々苦しむ私たちの日常生活。そんなきな臭さや生活苦に苛立つ思いを募らせながら、涙にじませ歌う子どもたちの純粋な思いに、絵本『どうぶつ会議』(ケストナー作)の警告を思い起こさずにはいられません。あとの2つの悲惨な世界大戦を経験してもなお『戦争や貧困を無くせない人間ども』に業を煮やした動物たち。「もう人間どもには任せておけない」と、世界中の動物たちは大集合して『どうぶつ会議』を開きます。そして、『戦争、暴力の反対は平和ではなく(対話)』(暉峻淑子 対話する社会へ)とばかりに激論を戦わして、人間どもにその愚かさを感じさせます。その末に行き着いた結論はただ一つ「子どものために!」。懸命に歌い上げる子ども達の涙に込めるためにも、早く真つ当な『にんげん会議』が展開されることを祈るばかりの、この秋の『優の風景』でした。(令和5年11月 M. H. 記)

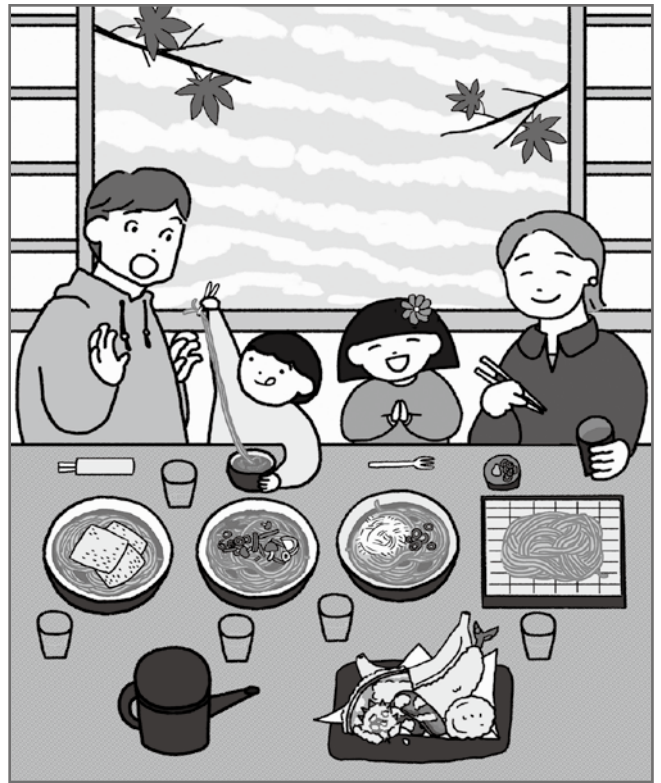
来年、山形村は開村150周年を迎えます。
 知っているようで意外と知らない私たちの山形村を、より深く、詳しく知っていただくために、マニアックなクイズを企画しました。まずは、頭の体操代わりに、間違い探しをお楽しみください。この企画は、2～3か月に1回行っていきます。これからもよろしくお願いします。



Vol. 3

8つのちがい

下の左右のイラストの違い、見つけられるかな？



山形村開村150周年記念 超マニアック三択クイズ！

問題1

山形村には、梓川の水が農業用水として田畑を潤しています。幹線水路の一つである^{こくえい ちゅうしんだいら}国営(中信平)^{うらお}右岸上段幹線に取水しているダムを一つ選んでください。

- ① 稲核ダム
- ② 水殿ダム
- ③ 奈川渡ダム

問題2

山形村でかつて盛んに生産された商品作物のうち、今も作られているものを一つ選んでください。

- ① 蚕の繭(絹糸原料)
- ② ピーマン
- ③ 唐松の苗木

～館報やまがたへの情報提供募集中～
 身近な情報・感想をお寄せください！

フォーム 右下のQRコードを読み取ってください。

電話 山形村公民館
 ☎0263-98-3155



正解は、次号で！

山形村公民館報『館報やまがた』No.811 11月号 令和5年11月発行
 編集と発行／長野県東筑摩郡山形村公民館 印刷／カシヨ株式会社

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見ることができます→

